発行日　平成２９年６月20日

学校だより なでしこ 6月号

横浜市立岡野中学校　電話045-311-3210

『平成29年度６月のご挨拶』

校長　佐塚　久信

本年度も始まってから二ヶ月が過ぎようとしています。３年生の修学旅行は数年ぶりに関西方面【奈良・京都】に戻りました。70周年という節目にまた新たな方向転換というのもいいものです。岡野中の３年生は旅先でも褒められることが多かったです。礼儀正しいとか挨拶をしっかりしてくれる、そして何よりうれしいのは表情が豊かだと言われたことです。

授業参観や懇談会にも多くの保護者の方の参加をいただきましたこと、感謝申し上げます。学校は申すまでもなく、授業の時間が一日の中で最も多いわけですが、この授業をさらに充実した時間にして参ります。身につけてほしい「生きる力」。本当の意味での「学力」。「具体的に育ってほしい生徒の姿」として次のように考えています。【今年も再確認です】

■人の前でわかりやすく確実に情報を伝えられる力を身に付けている
- そのための方法として、**パネルやパワーポイント**などを用いることができる
- **手段**として、**図やグラフ、イラスト**などを駆使して説明できる
- **効果**を考え、**色彩や音楽**なども工夫して取り入れ発表できる

■健康で健やかな、自分の体をつくろうと継続的に努力する人になる
- 日常的に、**体力増進の取組**が行える
- **食育に関する知識**を増やし、日常に活かすことができる
- 生涯にわたって**運動に親しむ資質や能力**を高めることができる

■自分とは違う他者の生き方を尊重し、人権を侵害しない態度を身に付けている
- 差別やいじめは、他者の生き方を認められない心の狭さ、心の弱さからくるものだと理解し、**広い心と強い心の持ち主**となれるよう努力する
- 人に迷惑をかける行為は、自分の生き方のレベルが低いからだと理解し自分を社会や人にとって、**大切な存在**となれるよう努力する
- **自尊感情と、他者への思いやりの心**を持った人になる

話す相手に「なるほど！」と思わせることのできる会話能力・交渉能力を身につけさせたいのです。授業の中で、日常生活の中で、意識して指導していきます。なるほどと思わせるには、確かな**知識**・相手が聞きたいと思っている**情報**を集め、興味を引く**具体的な提案**ができることが必要です。中学校での9教科、どれをとっても大切な教科であり、授業の中で知識や情報、技能が使えるかどうかを確かめます。道徳や特別活動・総合的な学習の時間では具体的な実践をして確かめます。ご家庭での協力も必要です。親子の会話こそ重要な実践場面です。わかり合えることの素晴らしさ、気持ちが通じ合うことの気持ちよさを意識してお話しください。宜しくお願いします。

〈地区懇談会を開催します！〉

日　時　6月30日（金）　１８時３０分開会　２０時１５分終了予定
場　所　西公会堂　２階会議室
内　容　①岡野中学校の子どもたちの様子
②情報交換
③地域の皆様、保護者、学校の懇談

テーマ『子どもたちのより良い環境作りのために
地域・保護者・学校でできること』

1・3年校外行事大成功！

５月下旬に１年は横浜校外学習（三ツ沢野外炊飯＆学年レク）、３年は修学旅行がありました。とくに、３年修学旅行は70周年を迎えた今年度から「奈良・京都」へ目的地が変わり、早くから事前学習に取り組んでいました。１・３学年共に、各自が自分の役割と集団行動を大切にし、大きく学年の団結を高めました。中心になって頑張った生徒の声を紹介します。

『横浜校外学習を終えて』

横浜校外学習実行委員長　柏木 七海

僕が一番印象に残った事は、みんなの笑顔です。『We are smile !』この校外学習のスローガンでもあるように、色々な場面で笑顔が見られました。カレー作りでは『失敗しちゃったー』という声もありましたが、おいしそうに食べていました。それから、歌を歌いながらカレーを作っている人もいて、みんな楽しそうでした。レクでは、優勝できなかったクラスの人達が優勝したクラスに『おめでとう』と笑顔で言っていて、すごく良かったです。あと、三ツ沢公園への集合時間は8時50分だったはずなのに、35分には全クラスが整列をしていて、『みんなやる気があるな』と思い、嬉しかったです。校外学習中、僕達みんなが笑顔だったので、スローガンは達成できたと思います。1年生はスキー教室があるので、校外学習で学んだことを生かしていきたいです。

『修学旅行での経験』

修学旅行実行委員長　草壁　穏

僕は、実行委員長として、修学旅行で学んだことが二つあります。一つ目は、集団行動の難しさです。僕たちは約百人という大人数で京都・奈良に行きました。多くの時間を全員で過ごしました。その中で僕たちは周りにどんな影響を与えたのか。そう考えると少し心配になります。自分たちはきちんとしていたつもりでも、団体というだけで周囲からマイナスに捉えられてしまう。だからこそ、周りの人に認められる団体というのは素晴らしいと思います。僕たちが少しでも良いと思われたなら、僕は本当に嬉しいです。

二つ目は人の助けと感謝の気持ちです。僕たちは一日目薬師寺に行きました。そこでお坊さんは「みんなは誰かに支えられて生きている。だから人に感謝することが大切なんだ。」とおっしゃっていました。そして僕は、二日目の班別行動でそれを実感しました。京都の街は予想以上に入り組んでいて、目的地がわからなくなるときが何回かありました。その度に、僕たちの班は現地の方に道を尋ね、どの方も丁寧に道を教えてくださいました。このとき、僕は誰かに支えられていること、助けられていることを身をもって体験しました。また、その方々にはしっかりと感謝の気持ちを伝えることができました。これからは人に支えられていることを自覚し、感謝しよう、そういう気持ちになりました。

僕たち三年生はこの修学旅行で様々なことを学びました。だからこそ、ここで終わりにしてはもったいないと思います。修学旅行をゴール地点と捉えるのではなく、あくまでも途中地点だと考え、これからも生活していきたいです。

『なら燈花会』ろうそくで「70th岡野」を描きました↑

↓『鹿寄せ』